

洗心園だより

発行 社会福祉法人洗心会 特別養護老人ホーム洗心園

〒739-0452 広島県廿日市市丸石二丁目7番47号

TEL 0829-55-0112 FAX 0829-55-0012

Eメールアドレス info@senshinen.or.jp

ホームページ <http://www.senshinen.or.jp/>

魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま制度
プラチナ認証法人



祝敬老会



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

丸石に移転しはや二年が経ちましたが依然コロナの猛威は収まらず、各介護施設や医療施設はその対応に苦慮しております。せっかく新築移転したのに未だに皆様へお披露目することも出来ず、非常にもどかしい思いであります。

さて、2024年次期介護報酬改定の中身がだいぶ明らかになってきました。

今度の改定は医療と介護の同時改定であるとともに、団塊の世代が全て後期高齢者となり高齢化社会の一つの節目である2025年直前の改定で、今後の介護事業の動向を占う上でも重要な改定であります。

その議論の中で、現在要介護度3以上である特養の入所要件を要介護1・2に引き下げ、要件の緩和をした方が良いのではないかという意見が多くあがっているようです。その背景には、従来全国で40~50万人と言われていた特養の待機者が直近の数字では20万人程度まで減少しており、重複して申し込みをされている方も含めての数字なので実態としてはその十分の一と言われております。実際、地域によっては居室に空きが足り、入居者確保が困難な状況が続いている施設もあるようです。

これには様々な要因や背景があろうかと思われませんが、一つの大きなポイントとして民間の介護事業所、例えば住宅型有料老人ホームやサ高住、また最近ではホスピス形態の有料老人ホームなどが急増しており、そのサービス内容や料金設定も多様化し、そちらの方に待機者の方が移られたのではないかとということが考えられます。

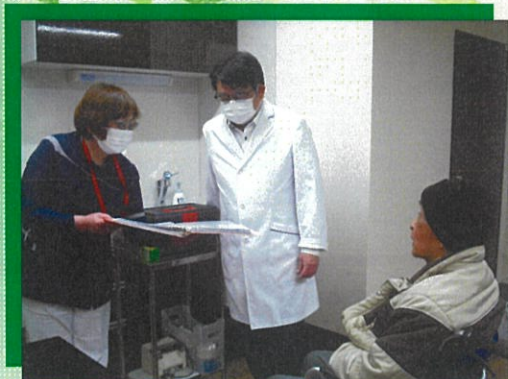
民間事業所との競争が激化しているのは紛れもない事実ですが、逆に特養が本来果たすべき役割が果たせていないからこそ現在の状況があるのではないのでしょうか。

私どもは社会保障のインフラとして地域の方を支えていくという本来の役割をしっかりと体現すべく、今後、施設介護の本流になるであろう科学的介護や自立支援、重度化防止、そしてアウトカム評価といったところにしっかりと取り組みを行ない、安定した事業運営に努めてまいります。

今後とも社会福祉法人洗心会へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和五年 元旦

社会福祉法人洗心会
理事長 小笠原 健



第三者評価を受審して

施設の提供する福祉サービスの質の向上をはかることを目的として、令和4年8月19日社会福祉法人広島県社会福祉協議会（評価機関）による福祉サービス第三者評価を受審しました。

2001（平成13年）にスタートした福祉サービス第三者評価は、福祉サービスを提供する事業所が、よりよい福祉サービスの実現に向けて、第三者評価機関が専門的・客観的立場から福祉サービスについて評価を行う仕組みです。

第三者評価の大きな目的は「利用者のサービス選択及び事業の透明性の確保のための情報提供」「事業者のサービスの質の向上に向けた取組みの支援」の2点です。

第三者の目から見た評価結果について、幅広く利用者や事業者に公表することで、サービスの利用を希望される方や家族に必要な福祉サービスを選択するための情報源の一つとして情報を提供するとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取組みを促すことにより、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。

本評価の取組みは職員全体で行う「自己評価」を基本とし、事業所で働くすべての職員が、自己評価によって明らかになった目標や課題を共有することから始まります。

この自己評価を基本に、評価機関が、専門的かつ客観的な立場から評価するものです。洗心園は今回で5回目の受審となります。

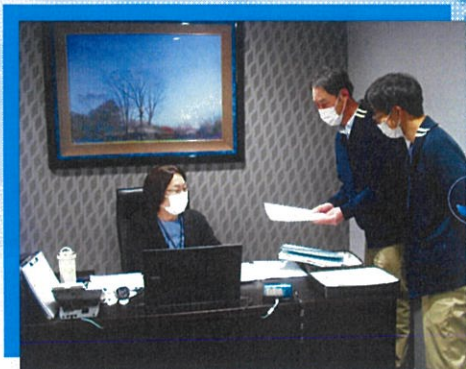
お陰様で受審結果はとても高い評価をいただきました。これにあぐらをかくことなく今後もサービスの向上に努めてまいります。

また、ご家族の皆さまには、第三者評価機関からのアンケートにご協力いただきありがとうございました。

皆さまからのご意見を真摯に受け止め施設運営に努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

なお、第三者評価情報につきましては、令和4年10月12日 WAM ネット (<https://www.wam.go.jp>) に公表されました。

施設長 高垣 恵美子



特養行事の様子

8月

夏まつり



施設全体で『夏まつり』を盛大に行いました。
各フロア・光庭等・・・広い館内を回って露店巡りをしました。

ヨーヨー釣り・ジュースすくい・くじ引き・お菓子釣り・アイスクリーム・かき氷・綿菓子があり、お土産も沢山！！皆さん大喜びでした。



9月

敬老祝賀会

敬老のお祝いで表彰・記念品贈呈・職員による
演芸・お祝い弁当・紅白上用饅頭など・・・
皆で楽しく過ごしました。



合同法要

洗心園物故者及び枕崎台風による広島陸軍病院大野
分院死没者の合同法要がありました。西教寺ご住職を
お迎えして、入園者と職員で無事法要を営みました。



10月

おやつ会

おやつ会では、職員が手作りで関西風お好み焼
きを作りました。ジュースやビールと一緒に召
し上がっていただきました。



11月

お茶会

毎年恒例、お茶会では季節感溢れる和菓子とお抹茶を用意し、可愛いお茶子さんがおもてなし・・・中には粋なお茶子さんもおられました！



12月

クリスマス会

今年もケーキ屋さんから選りすぐりのケーキを購入しました。「どれが美味しいん?」「迷うね～」と喜んでおられました。

サンタさんからのプレゼントにワクワク！



1月

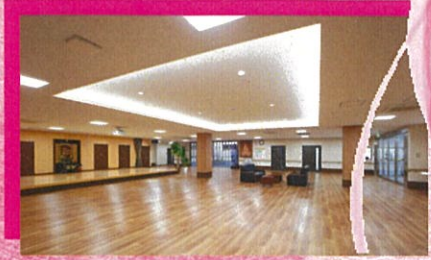
お正月を満喫

2023年の始まりです。

おせち料理・書初め・福笑い・年賀状・初詣気分など・・・施設の中でもお正月気分を満喫されました。



～山と海に囲まれた最高のロケーション～



理念

洗心会は仏教の教えをもとに創られた社会福祉法人であります。
老人福祉でも最も大切なのは介護する人の心であり、それは慈悲の心であります。
入所者も職員も大いなる命によって生かされている同行同朋(どうぎょうどうぼう)であります。
入所者に心やすらかな日々を送っていただくよう努めることが創業の理念です。

経営方針

- (1) 社会福祉法の倫理性、公共性に立脚した健全経営に努めます
- (2) 入所者の人格を尊重した福祉サービスの質の向上に努めます
- (3) 入所者及び家族との信頼関係を保ちます
- (4) 地域コミュニティとの交流を図ります
- (5) 情報を公開します

【デイサービス】 敬老祝賀会

デイサービスでは、華やかな敬老祝賀会となりました。
皆さんが主役です！お一人ずつ花飾りをつけて、唄って
踊って食べて・・・！日中お祝いムードでした。



昨年も引き続き私達や家族様にとって、コロナに振り回された1年でした。利用者様におかれましては、何ごとも無かったかの様に、良い笑顔で私達に話しかけてくださいます。

1月11日(水)は新春の行事甘酒会を喜ばれ、おやつに舌鼓。皆様日々の生活を楽しんでおられるようです。健康面に関しては、風邪を引かれても自然治癒力が素晴らしく、皆様の免疫力に感謝しかありません。

今は、新しい洗心園の生活環境にも慣れてこれ、広いフロア内を自由に歩かれる人、車椅子を自走されて海側までお散歩される人、ベッドから眺める変わりゆく山々の景色を堪能される人など、皆様楽しんでおられます。

「お天気の良い日には岩国方面まで見る事が出来ます。」

新型コロナウイルスの感染症が感染症法上の位置付けを「5類」に引き下げる案の検討が進められています。5類に移行なら「段階的に」費用の負担や治療の提供、流行状況に応じた予防接種体制の確保、新たな変異株が出現し、今後の医療体制など厚生労働省の専門家組織の意見を聞きながら準備を進めることになりそうです。

家族様との面会や外出、外泊の緩和に向けて施設としても必要な準備をしながら、利用者様にとって良い方向を考えていかななくてはなりません。

利用者様と家族様が一緒に行事を楽しむ機会が増えると嬉しいですね。

最後に私たち看護師が取り組んでいる事を一つお話ししたいと思います。

それは、「最期まで口から食べる事」の意味です。

最近では、延命治療(胃瘻造設)を望まれないご家族が多くなってきました。

脱水症状と闘いながら、経口摂取を続けることは容易なことではありません。

理学療法士や管理栄養士、介護職員と他部署の職員が一丸となって、その人に良い道筋を話し合っています。今は、カロリー補助食品の種類も多く、利用者様の食べたい物は何か、また食べ易い物は何か、誤嚥しないように介助することは簡単なことではありません。

職員一同は、利用者様の安全・安楽を一番に考えながら今後も取り組んでいきたいと思っています。

感染委員 看護統括主任 中村朱美



～編集後記～

8月から1月を振り返り、特に印象に残っているのが『夏まつり』です。

移転後2年が経ち久々に大掛かりな行事となりました。利用者さんと一緒に職員もお祭り気分を味わい、とても楽しかったです。来年度はもっとレベルアップした行事ができるよう、構想を練っていきたいと思います。

K. N

